

**福岡・近畿パーキンソン病研究の結果**  
**乳製品、カルシウム、ビタミン D 摂取とパーキンソン病リスクとの関連**

**背景：**米国の3つのコホート研究で男性において乳製品摂取がパーキンソン病のリスクを高めました。

**方法：**症例群は UK Parkinson's Disease Society Brain Bank のパーキンソン病診断基準に基づき発症後 6 年未満の 249 名の患者です。福岡大学、大阪市立大学、宇多野病院、京都大学、京都市立病院、九州大学、久留米大学、大牟田病院、刀根山病院、南京都病院、和歌山県立医科大学でリクルートしました。対照群は福岡大学、大阪市立大学、宇多野病院に入院中もしくは通院中の患者で、神経変性疾患と診断されていない 368 名としました。性別、年齢、居住地、喫煙、教育歴、BMI とコルステロール、グリセミック・インデックス、ビタミン E、β カロテン、ビタミン B6、カフェイン、鉄及びアルコール摂取を補正しました。

**結果：**総乳製品、牛乳、ヨーグルト、チーズ、アイスクリーム、カルシウム、ビタミン D 摂取とパーキンソン病リスクとの間に関連はありませんでした。

		Quartile				P for trend
		1 (lowest)	2	3	4 (highest)	
総乳製品	摂取量(g/日)	< 58.7	58.7-< 132.5	132.5-< 208.4	≥ 208.4	
	補正 OR	1.00	1.01	1.07	0.85	0.62
	(95% CI)		(0.61-1.67)	(0.64-1.77)	(0.50-1.45)	
カルシウム	摂取量(mg/日)	< 421.6	421.6-< 539.8	539.8-< 669.2	≥ 669.2	
	補正 OR	1.00	0.77	0.87	0.69	0.37
	(95% CI)		(0.46-1.29)	(0.50-1.49)	(0.37-1.30)	
ビタミン D	摂取量(μg/日)	< 7.129	7.129-< 9.30	9.30-< 12.82	≥ 12.82	
	補正 OR	1.00	0.65	0.83	0.82	0.69
	(95% CI)		(0.38-1.09)	(0.50-1.37)	(0.46-1.47)	

**結論：**日本人において乳製品、カルシウム、ビタミン D 摂取はパーキンソン病発症と関連がないのかもしれませんが。

**出典：** Miyake Y, Tanaka K, Fukushima W, Sasaki S, Kiyohara C, Tsuboi Y, Yamada T, Oeda T, Miki T, Kawamura N, Sakae N, Fukuyama H, Hirota Y, Nagai M, Fukuoka Kinki Parkinson's Disease Study Group. Lack of association of dairy food, calcium, and vitamin D intake with the risk of Parkinson's disease: a case-control study in Japan. *Parkinsonism Relat Disord.* 2011; 17: 112-116.